

# 肝臓通信 創刊号

発行 田中内科クリニック



# Vol. 01

H28年3月号



## 肝臓って どんな 臓器？



肝臓は、右側上腹部に位置する、人体最大の臓器で、成人では重さが約1kg以上もあります。構造はひとかたまりではなく、膜で「右葉」と「左葉」に分けられています。

肝臓の働きの1つが代謝です。門脈から流れ込む血液中の栄養素を、体内で利用しやすい形につくりかえるのです。2つめは、有害物質を解毒し、無毒化すること。

3つめは、胆汁をつくる働きです。

肝臓が『人体の化学工場』と呼ばれるのは、こうした働きを担うからです。

## 肝炎ウイルス検査について

### 肝炎ウイルス検査って受けた方がいいの？

ウイルス性肝炎は国内最大級の感染症です。40人に1人がB型肝炎、もしくはC型肝炎ウイルスに感染しているといわれています。一生に一度は肝炎ウイルス検査を受けましょう。ウイルス感染を放置しておくと、**肝硬変や肝がんを発症する**恐れがあります。ウイルスに感染しているかどうかは検査でしか分かりませんので、まだ受けてない人は早めに検査をうけましょう。

### どんな検査？

採血をしてウイルスマーカーで検査します。肝炎ウイルスは型によって遺伝子構造が違い、ウイルスごとに異なる抗原（病原体）を持ち、それに対する抗体（抗原の働きを防ぐもの）が体内でつくられます。これらを調べることで感染の有無がわかります。



## 肝臓通信発刊のご挨拶

この度、職員の発案により肝臓通信を発刊することになりました。肝臓についての情報や知識などをお知らせしていくことになりました。今、肝臓についての大きな話題が二つあります。

○生活習慣病と肝臓の関係です。生活習慣病である脂肪肝は、軽く考えがちですが、実は、慢性肝炎から肝硬変へと進行していく怖い病気です。

○肝硬変・肝臓がんの主な原因である肝炎ウイルスが、今や飲み薬で治る時代となりました。まず、肝炎ウイルス検査により、自分が肝炎ウイルスに感染しているかどうかを知ることです。これから皆さんとともに肝臓のことを考え、生活習慣病の改善に取り組み、地域から肝炎ウイルスを無くし、健康な地域づくりに貢献できれば幸いです。

（田中院長）

